

公立大学法人秋田県立大学中期目標

大学の基本的な目標

秋田県立大学は、秋田県の豊かな自然や資源、伝統に支えられた技術や文化、地域産業との関わりを通じた教育研究活動を積極的に展開し、次代を担う有為な人材を輩出するとともに、地域社会の課題への対応など、地域貢献活動に取り組み、県の「知の拠点」としての役割を果たしてきた。

今後、グローバル化が一層進展し、社会・経済構造が変化する中で、的確な洞察力をもち、イノベーションの創出を担う有為な人材を養成することが求められている。

また、少子化や脆弱な産業基盤、厳しい雇用環境など、県の持続的な発展の基礎が揺らいでいる現状を踏まえ、工学系と農学系の学部をもつ大学の特徴を発揮して、地域の社会・経済基盤の強化と地域課題の解決に積極的に貢献することが求められている。

こうした認識の下、秋田県立大学は、第2期6年間で大学の総合的価値を向上させる期間と位置付け、大学の組織運営と諸活動の最適化を図り、秋田県の誇る大学として、次の基本的目標の達成に邁進する。

- ① 真理探究の精神をもち、次代を担うべく、未来を切り拓く幅広い視野と豊かな創造力を備えて、地域社会を担い、国際社会に活躍する人材を養成する。
- ② 先端的な科学の研究及び技術の開発に努め、これを学生に対する教育の基盤とするとともに、地域の課題に対応した研究を進め、それらの成果を積極的に社会に発信することによって、秋田県の学術文化の発展と産業の振興に貢献する。
- ③ 大学を広く県民に開き、県民に対して生涯にわたる高度な教育の機会を提供する。

I 中期目標の期間

平成24年4月1日から平成30年3月31日までの6年間

II 教育に関する目標

1 学生確保の強化

(1) 学部学生の受入れ

知的好奇心あふれる意欲的な学生を広く募集し、受け入れる。特に県内出身入学生を積極的に確保するため、各種の手立てを講ずる。

(2) 大学院学生の確保

学内からの大学院進学を積極的に支援するとともに、国内外から研究意欲のある優秀な大学院学生を確保する。

2 教育の質の向上

(1) 学部教育

豊かな教養と個別専門分野の知識や技術の修得はもとより、多角的な視点から真理を探究するとともに、自ら問題を発見し、解決する能力及び優れたコミュニケーション能力を身に付けた人材を育成する。

このため、教育課程の見直しと教育方法の改善に取り組む。

(2) 大学院教育

深い専門知識と総合的な判断力、豊かな創造性を備え、世界に通用する研究成果を上げ、かつ、発信できる能力を身に付けた人材を育成する。

このため、教育課程の見直しと研究指導体制の充実に取り組む。

(3) 検討体制の整備

教育の質の向上を図るため、専門的に検討する体制を整備し、学部教育及び大学院教育の取組の支援を行う。

3 学生支援の強化

(1) 学生支援

学生が安心して勉学や研究に打ち込めるように、学生生活に対する的確な支援を行う。

(2) キャリア教育・就職支援

学生が早い時期からの的確に進路の選択をすることができるように、キャリア教育をカリキュラムに組み入れ、学生の適性に応じた適切な支援を行うとともに、県内企業等への就職の促進に取り組む。

Ⅲ 研究に関する目標

1 先端的・独創的研究や特色ある研究の推進

先端的で独創性が高く、社会への貢献度の高い研究を進めるとともに、地域の特性に応じた研究を多面的に行い、大学として特色ある研究分野を確立し、重点的に推進する。

2 研究費の確保と研究体制の整備

競争的研究資金や共同研究、受託研究等の外部資金の獲得強化を図るとともに、研究分野の重点化や研究評価の結果を踏まえ、研究費の重点配分を進めるほか、研究テーマに応じた効果的な研究体制を整備する。

IV 地域貢献に関する目標

1 県内産業の競争力強化に向けた支援

(1) 産業振興への寄与

産学官連携のコーディネート機能を強化し、産学官連携の効果的な推進を図り、県内産業の競争力を高める。

(2) 知的財産の創造と活用

事業化に直結する創造的な共同研究を推進し、県内企業への技術移転を促進する。

(3) 木材高度加工研究所

木材・木質材料の研究機関として、森林資源の有効利用技術を開発するとともに、試験研究機関の機能を発揮し、本県木材産業のより一層の振興に貢献する。

(4) バイオテクノロジーセンター

教員や学生の研究を支援し、研究の高度化を図るとともに、地域社会に開かれたセンターとして、受託解析や技術相談等を行う。

2 地域支援

(1) 自治体、企業等との連携推進

県内の自治体や企業等との連携を推進し、大学の知的人的資源を活用することにより、自治体の課題解決や企業等の技術指導等を行う。

(2) 学校教育への支援

県内の小・中・高等学校と連携し、出張講義や科学教室等により、学校の教育活動を積極的に支援する。

(3) 生涯学習への支援

県民の要望を的確に把握し、公開講座等を実施する。また、大学の保有する施設を積極的に開放する。

V 交流・連携に関する目標

1 国際交流の推進

(1) 研究者の交流と共同研究の推進

特色ある優れた研究成果の発信により、海外の大学との連携を進め、研究者の交流と共同研究を推進する。

(2) 国際感覚を備えた人材の育成

本学学生と海外の大学の学生との交流を促進し、教育研究活動の向上と活発化を図り、国際感覚を備えた人材を育成する。

2 他大学等との交流・連携の推進

県内外の高等教育機関等との交流・連携を推進し、教育研究機能の強化を図る。

VI 大学経営の改善に関する目標

1 業務運営の改善及び効率化

(1) 運営体制の強化

理事長及び役員会のリーダーシップの下、機動的な組織運営に努め、組織体制について検討を行う。

(2) 運営の高度化

中期目標・中期計画の達成状況の適切な進行管理を行い、業務内容や組織運営の持続的な改善により、大学運営の更なる高度化を図る。

(3) 人事制度の適正な運用による組織の活性化

多面的な評価を通して最適な人事管理を実現するとともに、組織的な教職員の能力開発により、優秀な教職員を確保・養成し、組織を活性化する。

2 財務内容の改善

(1) 自己財源の確保

経営の安定化を図るため、外部資金の獲得の強化など、法人の創意工夫により、自己財源を確保し、財政基盤の強化に努める。

(2) 経費の節減

地域に支えられた大学であることを踏まえ、徹底した業務の合理化により、経費の節減を図る。

3 自己点検・評価等の実施及び教育情報等の公表

(1) 自己点検・評価及び自己改革の実施

大学の教育、研究及び組織運営に係る自己点検・評価を定期的実施するとともに、秋田県地方独立行政法人評価委員会及び認証評価機関による評価を踏まえ、これらの結果を改善に反映させる。

(2) 教育情報等の公表

教育研究活動の状況や自己点検・評価及び認証評価機関による評価の結果など、法人及

び大学に係る情報を分かりやすく積極的に発信する。

4 その他業務運営に関する重要事項

(1) 安全管理体制の強化

安全管理及び危機管理に関する体制を強化し、より安全なキャンパス環境を確立する。

(2) 教育研究環境の整備

施設設備の適切な維持管理と整備に努め、良好な教育研究環境を確保する。